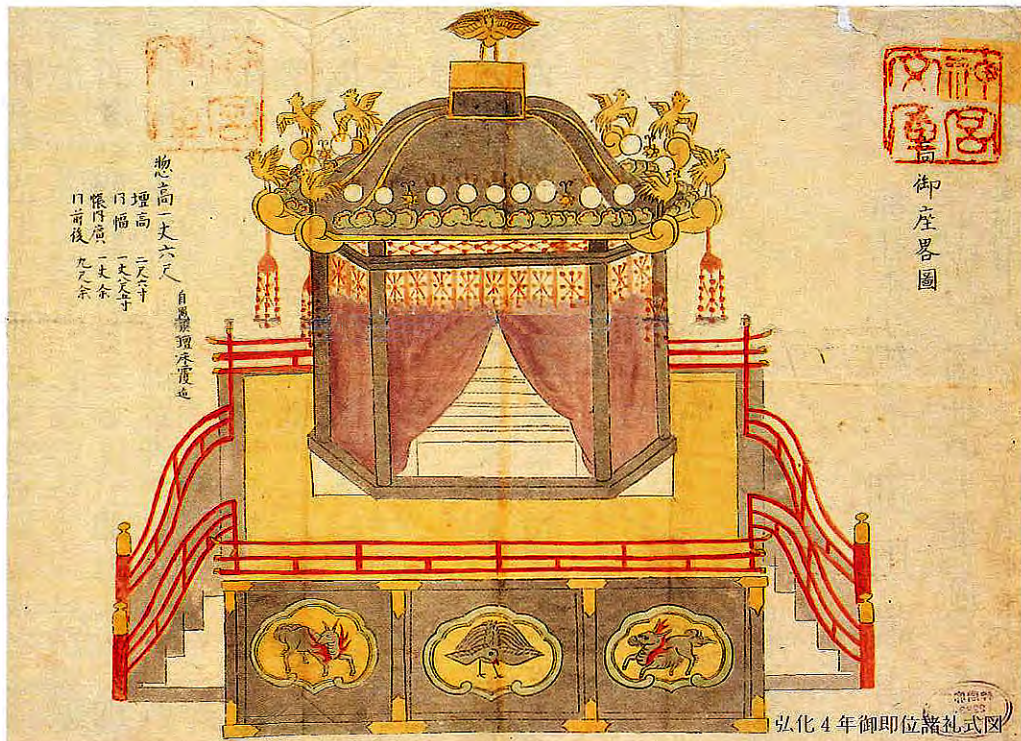


絵図と古文書が明かす秘儀の実像!!

即位の礼と大嘗祭

— 資料集(付解説) —

神宮文庫(伊勢神宮)編



| | |
|-------|-------------------------------------|
| 発行 | 体裁・定価 |
| 国書刊行会 | B5判・上製・美装箱入・680頁(内カラー64頁)・定価28,800円 |

好評発売中



大嘗祭

昭和の御大典
古代の即位式
ニイナメの古俗

真弓 常忠 著
新嘗祭

〈収録内容〉
大嘗祭の準備
大嘗祭の次第
大嘗祭の原像と本質
大嘗祭と大神嘗祭
大嘗祭と即位式
大嘗会の本文
大嘗会和歌
大嘗祭の歴史
大嘗祭と憲法

延喜式内社一覽(掛軸)

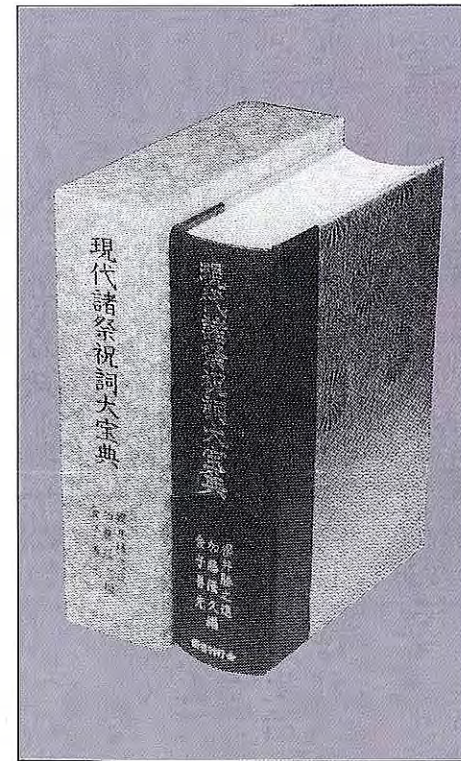
岩本 徳一監修・西牟田崇生解説
定価七五、〇〇〇円 解説付



現代諸祭祝詞大宝典

櫻井勝之進・加藤 隆久・金子 善光 編
A5判・九二〇頁・定価一八、八〇〇円

〈収録内容〉
第一章神宮 第二章神社/日例祭 日恒例祭 日式年祭・臨時祭 四月初次 日供・朝拜 第三章講社・崇敬会 第四章人生儀礼/日縁結び・結婚式 日安産・初宮詣・育児・七五三詣・入学祭 日成人祭・就職・延寿祭・米寿祭 第五章祈願/日心願・奉賽 日家内安全 第六章邸内社関係/日分祀・分霊 日例祭 第七章産業関係/日生業・事業関係 日事業安全 第八章工事関係/日地鎮祭・起工式 日工事安全 日竣工式・定礎式 日開場式・開通式・進水式・始動式・火入れ式 第九章文化関係/日学術芸能 日開講式・開所式 日水神祭 日御製除幕式 日歌・句碑除幕式 日一般除幕式 日入魂・抜魂 第十章諸祭/日奉告・感謝 日奉納・献上 日正式参拝 日四顯彰・記念 日交通安全 日清祓 日諸祭 第十一章葬祭 日第十二章霊祭 日十三章慰霊祭/日戦没者慰霊祭 日物故神職慰霊祭 日一般慰霊祭

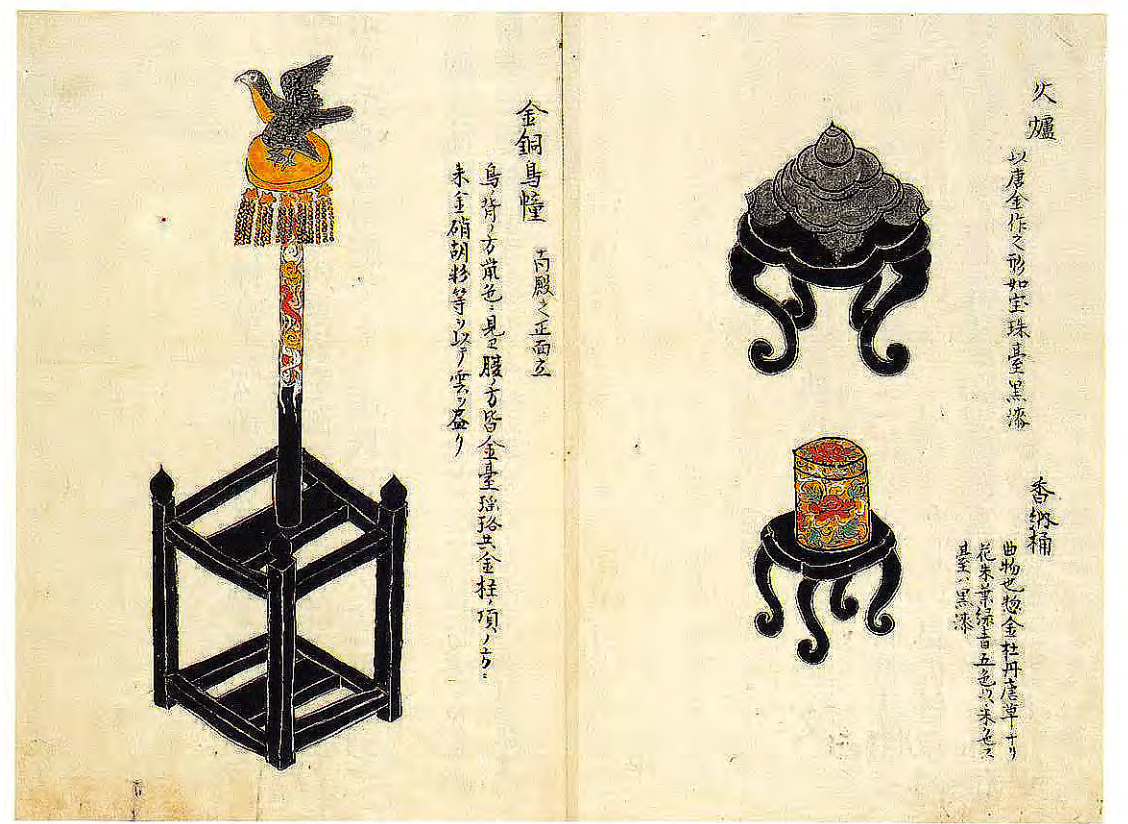
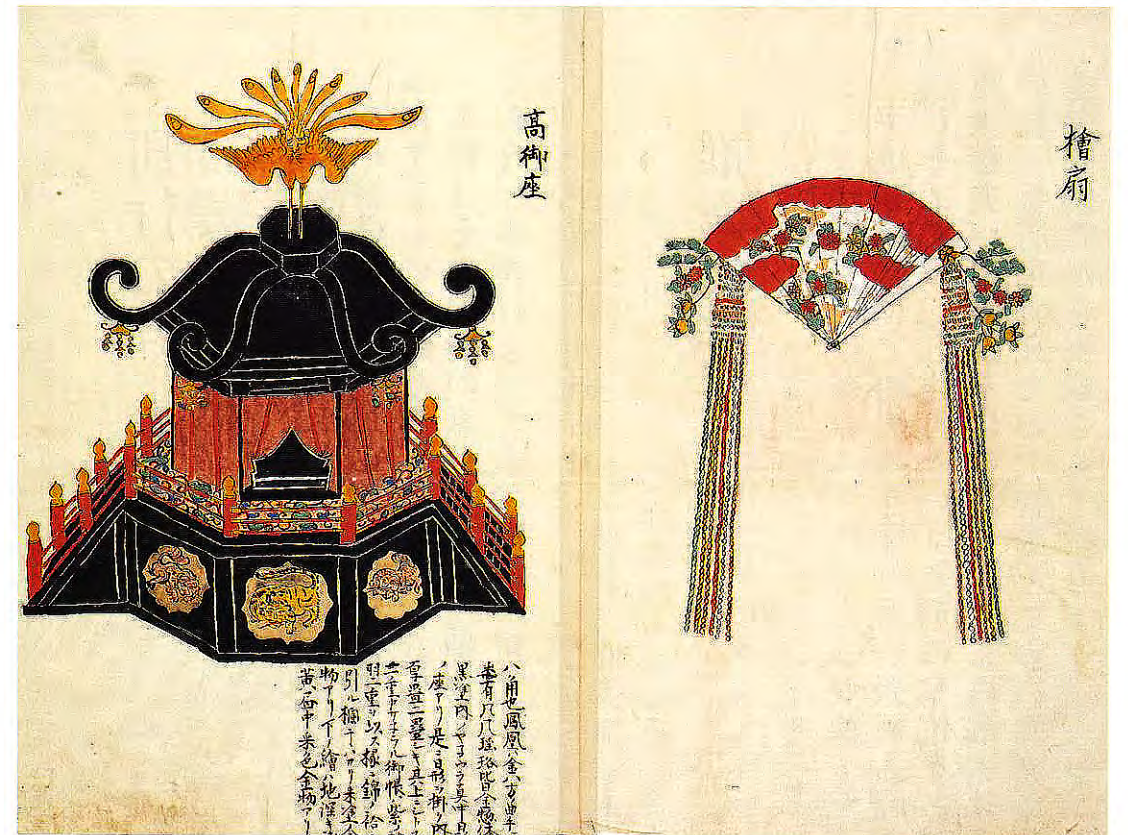
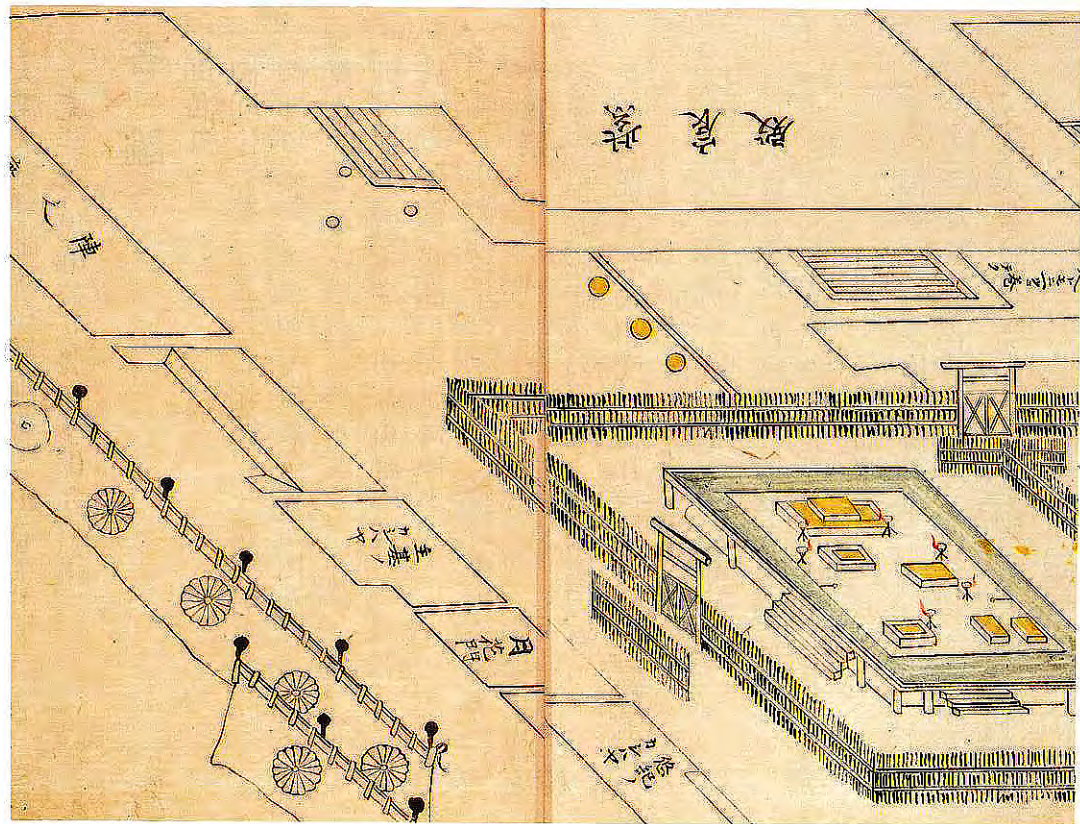
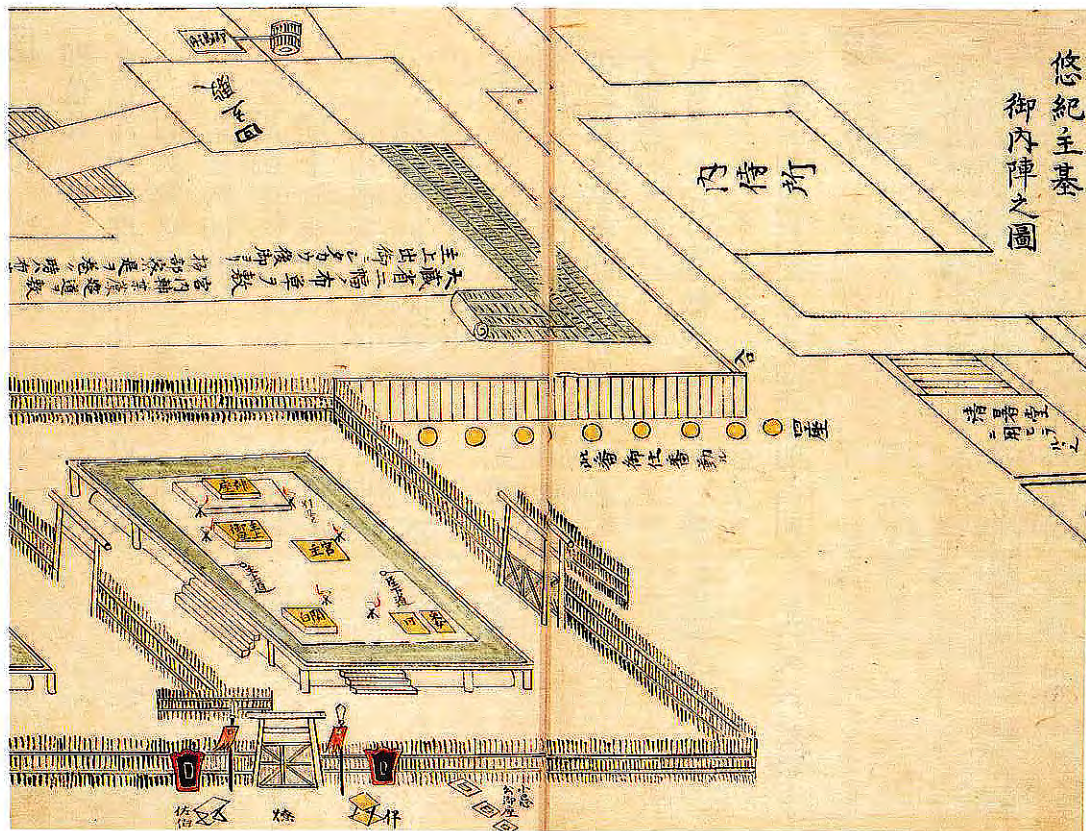


【取扱い書店】 小社の書籍は注文制です。書店にお申し込み下さい。

【発行所】

(株)国書刊行会

東京都豊島区巢鴨3-5-18
〒170 電話03-917-8287



刊行の辞

神宮大宮司 久邇邦昭

畏くも天皇陛下におかせられましては、今秋即位礼、大嘗祭の重儀を御齋行あそばされます。その厳儀は、我が国家・民族の歴史と本質を示す至要の祭祀であり国民ひとしく心をこめて奉祝するものであります。

本書はその祝禱の意をこめて、神宮文庫架蔵の御大札関係資料を影印本として刊行するものであり、本書によって天壤無窮の祈りが、より鮮明にされますことを切望するものであります。

平成二年九月吉日

推薦の辞

宮内庁掌典長 東園基文

平成の御代はじめの本年十一月、畏くも今上陛下におかせられましては、とおく神武天皇よりかぞえて一二五代目という無窮の皇位をお継ぎになられるという、古式ゆかしい皇位継承の重大儀典がくりひろげられます。この御大札という国家最高の儀式は昭和新高宮殿における即位の礼、皇居東御苑での大嘗祭、さらに両陛下が伊勢に行幸啓あそばされる神宮御親謁など、一連の諸儀式から構成されております。

我が国の歴史と文化をめぐる特徴を挙げますならば、穏やかな風土と豊かな国民性、また天皇と国民とが一体になって国づくりに励んできた平和な歴史のありかたなど、指摘すべき点が少なくありません。しかし、それら諸外国にも誇るべき特徴の根本を突き詰めてまいりますと、まさに万世一系にして皇統連綿たる皇室の尊厳性、あるいは公正無私とも表現される天皇の大御心、そのような民族永遠の理想に誰しも想いがゆきつくことでしょう。

我が国民にとって、皇位継承の儀礼が最も重要なことであることは、すでに神話のなかで天照大御神が発せられた「天壤無窮の神勅」に明かなところであり、その神勅さながら即位の礼や大嘗祭を厳修いたすべきことが、歴史の心として遠い父祖の時代より尊ばれてまいりました。さる昭和三年に先帝陛下が御大典をあげさせられてより六〇年ぶり、私どもが本年、ゆかしく厳かな今上陛下の御儀を迎えられますことは、国民ひとしく無上の慶びといたすところであります。

この御大札が、伊勢にお祀りする天照大御神と不可分の関係にあることは、即位礼でお即きになる高御座、大嘗祭で親供なされる神饌、伊勢神宮における両陛下の御奉告など、ゆかしい皇祖御崇敬の濃やかな心映えのなかにうかがうことができます。

そうした皇祖神の鎮まります伊勢の神宮に、御大札をめぐる貴重な典籍が数多く所蔵されていることは、かねて学会周知のところであり、世に神道学の宝庫と讃えられる神宮文庫において、幾時代にもおよび次第書や編著書、鮮やかな極彩色の絵巻物や付図をとりそろえられ、およそ三十余种にもおよび典籍が当度の御大札を記念する出版物として、このたび刊行のはこびとなりましたことは、まことに慶賀の至りであります。

平成の御大札を迎えるにあたり、立極垂統の重儀が滞りなく終えさせられ、皇室の弥栄をひたすら祈念申しあげる趣意を込めまして、ひろく江湖の諸賢が本書を机辺にお備えくださるよう、ここにお薦めいたす次第であります。

平成二年九月吉日

推薦の辞

神社本庁統理 細川護貞

本年秋、天皇陛下には即位の礼大嘗祭を御齋行と相成り、平成の大御世の大業を恢弘あそばされるにあたり、全国民一人ひとりがともに、赤誠を以て慶祝申上げることが申すまでもありません。

即位の礼は、古来より皇室・国家の重儀として行はれ、その儀式としての体裁もまた律令体制の確立と相俟って整へられてきたわけであり、時代によりその変遷もまた窺へるものがあります。戦国乱世の代には一時の中絶は余儀なくされたものの、いづれの時代にあつても時代それぞれの祈りが捧げられ、今日までその本義が陛下の御手振りとして伝へられてきたわけです。

平成の御世の即位の礼に際し、私たちがかうした佳節に生を受けたことを喜び、一心に大御心を体して謹んで奉祝の御祈念を致すとともに、先人諸賢の労苦を我がものとして、時代の精華が充分に反映された儀式が御齋行となられるやう努めなければならぬとせう。またかうした陛下の即位の礼が、単に皇室・国家にとどまらず、私たち国民一人ひとりの生活に、文化的・信仰的にも深く関わり合つてゐることを充分認識し、また広く明らかにしなければならぬとせう。

私たちが日常いただいてゐる稲米は、天照大御神さまより瓊瓊杵尊がおさずかりになり、これを葦原中国に持ち下したものであると日本の神話は伝へてゐます。これら稲作の起源については諸説があるものの、私たちはその起源について天孫降臨といふ神話によって美しく語り伝えてきたわけです。日本の古名を豊葦原瑞穂国ともいふやうに、稲は日本の国柄そのものを象徴するものであるとともに私たち日本人にとって稲作りとは、神々から授けられた神聖なる営みでもあつたわけです。かうした信仰的事実が、即位の礼といふ御手振りを通して現実のものとなり、また神話的時間と歴史的時間とがこの一点に於いて邂逅するわけです。そのためにも今私たちは、陛下の御手振りを拝承し、あらためてその本義を窺ひ知らなければなりません。此の度、神宮文庫編『即位の礼と大嘗祭』が上梓されますことは、まことに時機を得たものであり研究者諸賢のみならず、斯界にとつても貴重な資料と申しませう。是非御一読をお奨めする次第です。

平成二年九月吉日

収録内容

図版

即位礼

弘化四年御即位諸礼式図(弘化度)

御次第略図

紫宸殿御装飾

高御座略図

庭上御装飾

主上御礼服秘図

諸幢鉾并御調度

公卿以下礼服形容

文安御即位調度之図(藤原光忠著 文安度)

御即位礼服図(松坂学問所旧蔵)

御即位次第并図式(山日本)

大嘗祭

大嘗宮悠紀主基敷設図(文化六成 桃園文庫)

大嘗会図(元文度 松木智彦写)

大嘗会御規式記(元文度 明治四十 大久保堅磐写)

総説

一般

御代始鈔(一条兼良著 寛永八)

大嘗会儀式具釈(荷田在満著 静観室旧蔵・御巫本)

大嘗会儀式具釈摘略(中川経雅著 経雅自筆)

大嘗会便蒙(荷田在満著 宝暦一一 定綱・経雅写)

大嘗会略要(村井古巖本)

神宮

由奉幣大幣部類(足代弘訓著)

大幣大嘗考証(足代弘訓著 山日本)

大祀詳説(黒瀬益弘著 享保九自筆)

各論

即位礼

御即位次第 寛正(弘化四 三条実万写)

御即位次第(古事類苑編纂事務所旧蔵)

寛永記(一条康道著 寛永度)

御昇壇記(宝永度 村井古巖本)

高御座勤物(式部丞平胤祿抄出)

明和八年御即位大礼祝歌并反歌(中川経雅著)

大嘗祭

大嘗会記(天仁度 天保六 三条実万写)

永和大嘗会記(永和度 村井古巖本 「御禊記」 一条

良基著)

大嘗会記(応永度 文正元 三条実万写)

貞享大嘗会儀式(貞享度 貞享五黒瀬益弘写)

貞享四年大嘗会私記(貞享度 天明四山本数馬写

基勝卿記)

大嘗会神膳記(貞享度 御巫本)

元文三年大嘗会行事記(元文度)

元文度大嘗会宮造及国郡卜定図(嘉永度 嘉永元御

巫写)

大嘗会上洛参役記(松木智彦稿 元文度 元文四成)